## まちづくり交付金 事後評価シート 豊橋駅周辺地区

平成21年12月

愛知県豊橋市

## 様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名 豊橋市				地区名		豊橋駅周辺地区			也区		面積	157ha		
交付期間	平成17年度~21年度		事後評価第	事後評価実施時期 平成21年度			Ę	交付対象事業費		9,295百万円 国費率			枢	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に基幹事業		事業名 道路(市道花田町・西小田原町79号線)、地域生活基盤施設(情報板)、高質空間形成施設(緑化施設)、高次都市施設(まちなか交流施設)、高次都市施設(人工地盤)、土地区画整理事業(豊橋東口駅南地区)、優良建築														
	位置づけ、 実施した事業	提案事業	物等整備事業(豊橋駅前大通一丁目地区) 地域創造支援事業(子育て総合支援施設)、地域創造支援事業(新豊橋駅改善事業)														
			事業名						削除/追加の理由					削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から	基幹事業			な	L			なし					なし			
	削除した 事業	提案事業				なし			なし					なし			
	新たに追加し	基幹事業	道路(都市計画 物等整備事業			『市施設(ベデストリアンデッキ)、優良建築			都市計画道路花田大崎線:道路拡幅による渋滞緩和と無電柱化による景観形成 る景観形成 ペデストリアンデッキ:建設予定の公益施設への導線整備 優良建築物等整備事業:民間による再開発事業の着手					元々関連事業であるなど影響は小さい			
	た事業	提案事業		造支援事業(まちなかフェスティバル)、地域創造支援事業(防犯施 相調査(事業効果分析)				施設整備)、	まちなかフェスティバル: 商店街が主体となったイベントの実施 防犯施設整備: 監視カメラ設置による安心安全なまちの整備 事業効果分析: 都市再生整備計画の計画期間終了に伴う事後評価					元々関連事業であるなど影響は小さい			
	交付期間	の本事		平成17年度~21年度			交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響										
	の変更	変 更	\(\frac{1}{2}\)		W. 34				₩r.	/古 □ □ □ □ □		45N + 6		**************************************		7.0 7.7	
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況		指 標		単位	従前(	<sup>直</sup> 基準年度	目標1	直 目標年度	数 モニタリング	値 評価値	目標 達成度	1年以内 達成見i		効果発現要因 (総合所見)	<b>최</b>	フォローアップ 予定時期	
	指標1	駅利用者の満足度		%	9.2	H15	40.0	H21		68.3		あり なし		豊橋駅南口自由連絡通路(ノ区 区画整理事業、新豊橋駅改き 利用者の利便性が向上し、 に現れた。	善事業により駅		
	指標2	地区内の居住人口		7	23,858	H16	23,800	H21		23,436		ありなし		地区全体の世帯数や優良建業を実施した小学校区の人「 たな人口の流入効果はみられ 標の単位となるエリアが大き で効果が及んでいない。	口は増加し、新 れたが、人口指	平成22年5月	
	指標3	定点における歩行者通行 量		人/日	23,838	H15	25,300	H21		25,065		ありなし		地域交流センター、子育て総 優良建築物等整備事業など 減少傾向だった歩行者通行員 ている。今後、現在建設中の 整備事業が更なる交通量の ことが期待される。	の整備により、 量が増加に転じ )優良建築物等	平成22年6月	
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況			327 /2-	従前		目標化		数	値	目標	1年以内	<b>う</b> の	効果発現要は		フォローアップ		
	その他の 数値指標1			<del>単位</del> 件	126	基準年度 H16	目標年度		モニタリング	評価値 170	達成度 1	1		(総合所見) 区画整理事業などにより新た オープンスペースでイベントが とで、にぎわいの創出とまちが つながっている。	とに整備した が開催されるこ	予定時期 平成22年4月	
	その他の 数値指標2	地区内の世帯数		世帯	9,599	H16				9,900				世帯数が増加したことで、事 世帯が流入したことを示して		平成22年5月	
	その他の 数値指標3	松山校区の人口		Д	6,561	H16	116			6,756				優良建築物等整備事業が行 区の人口が増加しており、事 に効果があったことを示してし	業が人口増加	平成22年5月	
4)定性的な効果 発現状況	·土地区画整理事業	- 事業が進む中で今後のまちづくりを検討する住民組織が設立され、まちづくりのビジョンを作り様々な取り組みにつなげていこうとしている。 土地区画整理事業によりできた公共用地で、民間が主体となってイベントを計画している。また、オープンスペースでの音楽演奏希望者が増え、イベントの開催件数の増加につながった。 ・地区内に8,000㎡を越える平面駐車場があったが、土地区画整理事業により地権者が商業・業務ビルを建設するなど、民間開発を誘発することができた。															
5)実施過程の評価			実施内容						実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリン	ング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参		まちなかフェスティバル、コンサートインサークルブラザ、こども DAISUKIタウンまつりの実施					都市再生整	部市再生整備計画に記載し、実施できた 野市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				まちなかフェスティバルについては、商店街とボランティアスタッフが一体となって取組み、まちなかのにぎわいの創出を図る。 コンサートインサークルブラザについては、民間が整備したオーブンスペー スでの行事と連携を図りながらイベントの促進を図る。				
	プロセ	ス						部中冉生整備計画に記載したが、実施できなかった 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				ì	こざもDAISUKIタウンまつりについては、こども未来館ここにこと商店街との連携を強化しながら、まちなかへの来街者の増加を図る。 その他、更なる住民参加の機会を提供するために、民間を主体としたオープンスペースでのイベントを推進する。				
	持続的なま 体制の植		豊橋中心市街地活性化推進協議会 TMO推進会議					都市再生整	市再生整備計画に記載し、実施できた 市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				豊橋中心市街地活性化推進協議会については、豊橋まちなか活性化推進 協議会に名称を変更し、更なる官民協働体制の強化を図る。 TM(推進会議については、今後も官民の連携を深めながら更なる事業の 推進を図る。				

## 様式2-2 地区の概要

## 豊橋駅周辺地区(愛知県豊橋市) まちづくり交付金の成果概要 まちづくりの目標 目標値 評価値 目標を定量化する指標 従前値 駅利用者の満足度 単位:% 9.2 H15 40.0 H21 68.3 H21 中心市街地の活性化 地区内の居住人口 単位:人 23.858 H16 23.800 H21 23.436 H21 「とよはし文化」を発信するにぎわいの交流空間 ~ 穂国の中心市街地の再生~ 定点における歩行者通行量 単位:人 23 838 H15 25 300 H21 25 065 H21 最新の都心文化を創造し発信する拠点の整備 豊橋独自の歴史や伝統を継承する拠点の整備 地区内でのイベント開催件数 単位:件 H16 126 170 H21 安心・安全で回游性のあるにぎわい商業空間の整備 地区内の世帯数 単位:世帯 9 599 H16 コミュニティの維持再生に資する快適な居住空間の整備 9 900 H21 6 756 H21



高次都市施設(地域交流センター) 地域創造支援事業(子育て総合支援施設)



優良建築物等整備事業 (駅前大通一丁目地区)





地域生活基盤施設 (情報板・コミュニティーサイン)



高次都市施設 (南口自由連絡通路、ペデストリアンデッキ)

まちの課題の変化

- |・駅の利用者の増加や減少傾向にあった歩行者の増加が図られ、中心市街地に人を呼び込むことは一定程度できた。
- 新しい商業施設がオープンし、商業機能の強化が図られたが、地区の商品販売額の増加につながっていない。
- ・優良建築物等整備事業で、新たな世帯が流入し人口減少から増加に転じた小学校区があるが、対象地区全体の人口増加に至っていない。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)

- 駅利用者や公共施設の利用者の増加を、まちなかの歩行者通行量の増加につなげるために、イベントの開催等によりまちなかに人を引き込む魅力づくりを進める。 魅力的な商業拠点の整備を推進し、商業集積を高め、専門性の高い商業や地域住民に密着した商業など商店街全体の魅力づくりに取組み、商品販売額の増加を図る。
- ・人口の定住を促進するためにも重要となる生鮮食料品等の商業機能の充実を図る。
- ・安心して生活できる環境を整備・PRするとともに、住宅供給を促進することで多様な世代の様々なライフスタイルの人々の流入・定住を図り、地区人口の増加を図る。
- 豊橋東口の駅南地区から駅前大通りの南側を含んだ地区において一体的なまちづくり及びまちなみ形成を図る。